

令和5年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年10月18日(水) 午後1時30分から3時まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

運営協議委員A、運営協議委員B、運営協議委員C、運営協議委員D、
運営協議委員E

(2) 本校職員

校長、教頭、部主事、教務課長、進路指導課長

4 議事

(1) 開会

学校長あいさつ

- ・地域の方々など、いつもと違う人に認められることは生徒の励みになり自信につながる。色々な御意見をいただき、地域の中での活動が進んでいて嬉しい。

(2) 報告事項

ア) 学校経営の進捗状況について(教頭)

学校経営計画書に基づき説明

- ・有事への対応力をつけるために、防災訓練を実施している。4月には地震を想定した避難訓練を実施。11月には火災を想定した避難訓練を実施する予定。11月の訓練では、教員にも火元を知らせず、急な場合でも適切な動きや報告ができるか訓練を行う。12月には11月の反省を受けて、登下校時の被災を想定した訓練を計画し実施していく。
- ・安全教育の充実を図るため、4月に救急法講習会、10月にアレルギー対応訓練を実施した。今後、誰が指示を出すかを明確にして緊急時対応をしていきたい。
- ・効率的な業務の遂行という点では、19時までの退勤日の割合は7月から9月は100%。今後忙しい時期に入っても、計画的に仕事をするように呼びかけたり、困ったときには、周りに相談するなど声を上げたりするように伝えていきたい。
- ・学習の充実のため、2回外部講師により授業づくりについて助言を受けた。今後は、12月に他校の教員にも参加していただき公開授業研修会を実施する。今後も助言を生かした授業づくりをしていきたい。
- ・地域とのつながりを強めたり、本校及び本校の教育課程について周知をしたりするために、学校見学会や図書館販売会を実施した。当日上手く製品説明ができなかったり、製品が売れ残ってしまったりしたが、その経験を生かして生徒は次の行動を考えていた。よい学習経験になった。
- ・関係機関との連携では、磐田市と連携して、市の課題を考える磐田市まちづくり研究所や、地域の人に発信をしながら自分たちの興味のあることに取り組む高校生ラボの活動に参加している。

イ) 御意見や御質問（・）とそれに対する回答（⇒）

（運営協議委員B）

- ・図書館での製品販売は、図書館での性格上、大きな声が出しにくく接客がしにくいのではないかと感じた。

⇒校内からも販売場所に合わせた販売方法を考えていきたいと反省があった。

（運営協議委員E）

- ・図書館での販売であれば、ポップを作るなど、見て楽しめるアピールをしていくこともよいのではないかと。

- ・磐田まちづくり研究所の活動では、どのようなテーマで取り組んでいるのか。

⇒昨年度は行きたいところに行きやすくなるように乗り換えアプリの作成について提案をした。

（運営協議委員C）

- ・市の関係機関との連携はどのように行っているか。

⇒支援の必要な生徒について、袋井市のしあわせ推進課や磐田市障害者相談支援センター等と連絡を取り合い、生徒の情報共有を行っている。

（運営協議委員E）

- ・関係機関との連携について、いろいろな形でアプローチをしていけるとよい。色々なところに相談できる関係を作っていきたい。

ウ) 学部経営の進捗状況について（部主事）

学部経営計画書に基づき説明

- ・生徒が自分の良さを理解し、意欲的に学べるように、学期ごと学校生活表、キャリアパスポート、なりたい自分プロジェクトシートを活用している。1年生が有効活用できるようになるためには、丁寧な説明が必要だと感じた。

- ・社会人セミナーの実施後に、マナーが向上したと思われる生徒が2名いた。今年度は全学年で実施していく予定。

- ・磐田北高等学校との合同行事も計画的に実施できている。体育大会では、共に力を出し切りながら、楽しく取り組むことができた。来年度も楽しみにしている生徒も多くいるように感じている。

- ・後期のまち美化活動に向け、地域の企業と打ち合わせを実施。地域と連携して活動していきたい。

- ・9月から17時30分から翌朝7時30分まで留守番電話での対応を開始した。

エ) 御意見や御質問（・）とそれに対する回答（⇒）

（運営協議委員E）

- ・保護者との連携や連絡体制を整えておきたい。

⇒時間外は学校の携帯電話に連絡をいただくよう周知している。

(3) 協議事項

ア) 見付の丘フェスタについて実施計画書に沿って説明（進路指導課長）

- ・今年度は昨年度の反省より、販売場所を分かりやすくするためにのぼり旗を利用す

る。また、イベントのひとつである磐田北高等学校のダンス部の発表場所を他のステージと同じになるように変更したり、陸上の全国大会参加者の紹介も盛り込んで実施したりしていく。

イ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員B)

- ・昨年度はステージの前方がどちらか分かりにくかった。また、地域の高齢の方向けに椅子を用意してはどうか。学校運営協議員用の椅子はなくてもよい。
 - ・陸上の全国大会用の横断幕があれば、見やすいように校舎側に向けてはどうか。
- ⇒旗は昨年度のもので、今年度のものはまだない。

(運営協議委員A)

- ・見付の丘フェスタは混雑していたので、案内をする人がいてもよいのではないかと。

(運営協議委員C)

- ・販売時間を質問された生徒が困っているように見えた。プログラムを分かりやすいところに掲示したり、アナウンスを入れたりしてはどうか。

(運営協議委員A)

- ・販売の最後尾が分かりにくい。案内があってもよいのではないかと。

(運営協議委員E)

- ・販売は、大きな表示を出すとよい。場所の表示や最後尾の表示など、分かりやすい表示を工夫したい。会場が縦に長いので分かりにくくなりやすい。

(運営協議委員C)

- ・販売に時間差があるのも分かりにくさにつながっている。「〇〇時から」とポップを作ってはどうか。

⇒分かりやすくなるように掲示をするなどして工夫していく。

ウ) 地域の方に学校を知っていただくための活動について

現在までの活動と今後の計画について説明 (教頭)

- ・前回いただいた御助言や御意見を生かして、対象を絞り、活動をしている。まずスズキ磐田工場での秋まつりでハンドベル部が演奏をした。12月に地域で行われるコンサートでも演奏する予定。その他、産業振興フェア in いわたに本校と合同で参加予定。また、生徒の得意なことを生かして、12月と1月にこども園の園児との交流を実施する予定。このときに、法被を利用したいが、貸してくれるところを教えていただきたい。
- ・来年度になるが、オープンスクールの実施を検討している。何かアイデア等があれば教えていただきたい。

オ) 御意見や御質問 (・) それに対する回答 (⇒)

(運営協議委員B)

- ・現在部員が少ないことや地域との交流の観点から、地域の人と合同で活動してはどうか。

⇒その場合、地域への紹介をお願いできるか？

・可能である。

(運営協議委員D)

・部活動に入部していない生徒はいるのか。

⇒全員参加ではない。

(運営協議委員A)

・部活の自由が浸透した。参加の仕方を考えていく必要があるのではないかと。

(運営協議委員E)

・練習の機会を考えると、部活動がなくなると辛い。

(運営協議委員C)

・見付分校は「ハンドベル」のイメージがある。学校を知ってもらうツールとして浸透しているので、なくなるのは残念。

・コロナ禍の影響で大人も子どもも「部活」に慣れていないところがある。部活の経験が少ないために、希望者が出難くなっているかもしれない。

⇒部活の意義から説明が必要かもしれない。

(運営協議委員B)

・企業向けの学校説明会などで、演奏の機会を設けてはどうか。

(運営協議委員C)

・浜松学園で行われているオープンキャンパスには、400名位の方が参加している。学園生から作業の説明を聞いたり、体験をしたり、作ったものを持ち帰ったりと、楽しめる内容になっている。参加時間も自由になっており申し込みもホームページからできるため参加しやすくなっている。

(運営協議委員A)

・オープンスクールを行うのであれば、校長会を通して磐田市や特別支援教育部会に紹介してもらうとよいのではないかと。

(運営協議委員C)

・オープンスクールについて、子ども未来課やしあわせ推進課経由でチラシを置いていただければ、福祉サービスの利用者の方に知ってもらえるのではないかと。

・磐田見付分校のことを知りたいと思っている保護者も多いと思うが、子どもの動機付けが難しいので、自由に参加できるようにするとよいのではないかと。

(運営協議委員A)

・法被については、町内で貸し出しているものであれば借用可能だと思う。

(運営協議委員D)

・一つの地区で希望数を揃えることは難しいかもしれないので、複数の地区に頼めばよい。

カ) その他

・次回自転車マナー運動は、10月20日(金) 7時30分から8時30分頃

・今後の予定について

第3回学校運営協議会 令和5年11月11日(土)

(4) 学校長あいさつ

学校を理解していただき、具体的な御意見、ありがとうございました。

地域の方々に愛されているハンドベル部の在り方については、今後検討していきたい。